

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2015年1月17日～2015年1月23日の推移】

【1】為替動向

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円で下落しました。トルコ中央銀行は、1月20日（現地）に行われた金融政策決定会合で、1週間物レポ金利を0.50%ポイント引き下げ、7.75%としました。声明文では、これまでの引き締め的な金融政策などに加えて、商品価格、特に原油価格の下落がインフレの鈍化に寄与するとし、今回の利下げを決定したとしています。トルコ・リラは追加利下げ観測が相場の重しとなり、1週間を通してみると対米ドル、対円で下落しました。

今週は貿易収支の発表が予定されています。引き続き、トルコのファンダメンタルズ改善期待を背景に、資金が流入しやすい環境が続くと想定しており、トルコ・リラは堅調な推移になりやすいと考えられます。

【2】金利動向

先週のトルコ2年国債金利は低下しました。債券市場では金融政策決定会合で利下げが決定されたことに加えて、ECB（欧州中央銀行）が量的金融緩和を決定したことを受けて、金利は低下しました。

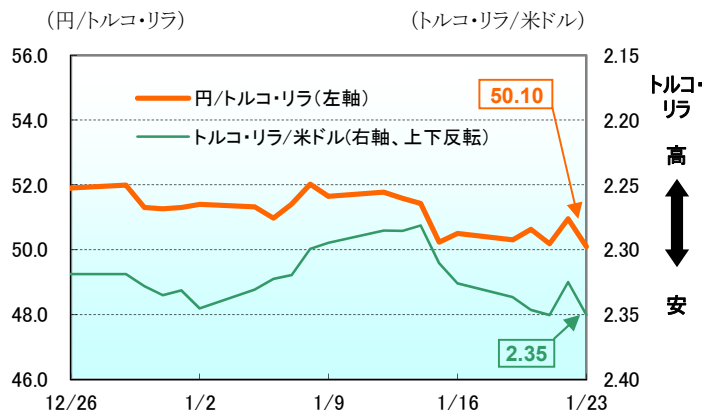
今週は貿易収支と四半期インフレ報告書の発表が予定されています。引き続き、資金が流入しやすい環境であることに加えて、インフレ報告書でインフレ見通しの改善が示されれば、堅調な推移となりやすいと想定します。

【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考) 前回
1/20	月次	-	1週間物レポ金利	7.75%	8.25%
1/20	月次	-	翌日物貸出金利	11.25%	11.25%
1/20	月次	-	翌日物借入金利	7.50%	7.50%
1/30	月次	12月	貿易収支	-	-83.2億ドル

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

【トルコ・リラ 為替推移】 (2014年12月26日～2015年1月23日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2014年12月26日～2015年1月23日)



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>